

Monthly
Company
Magazine

ONDO

月刊 おんど

October 10月
No.517 2020

ウチヤ・サーモスタット株式会社
UCHIYA THERMOSTAT CO.,LTD.

月刊おんど編集部（総務部）

〒341-0037

埼玉県三郷市高州2-176-1

TEL : 048-955-4181

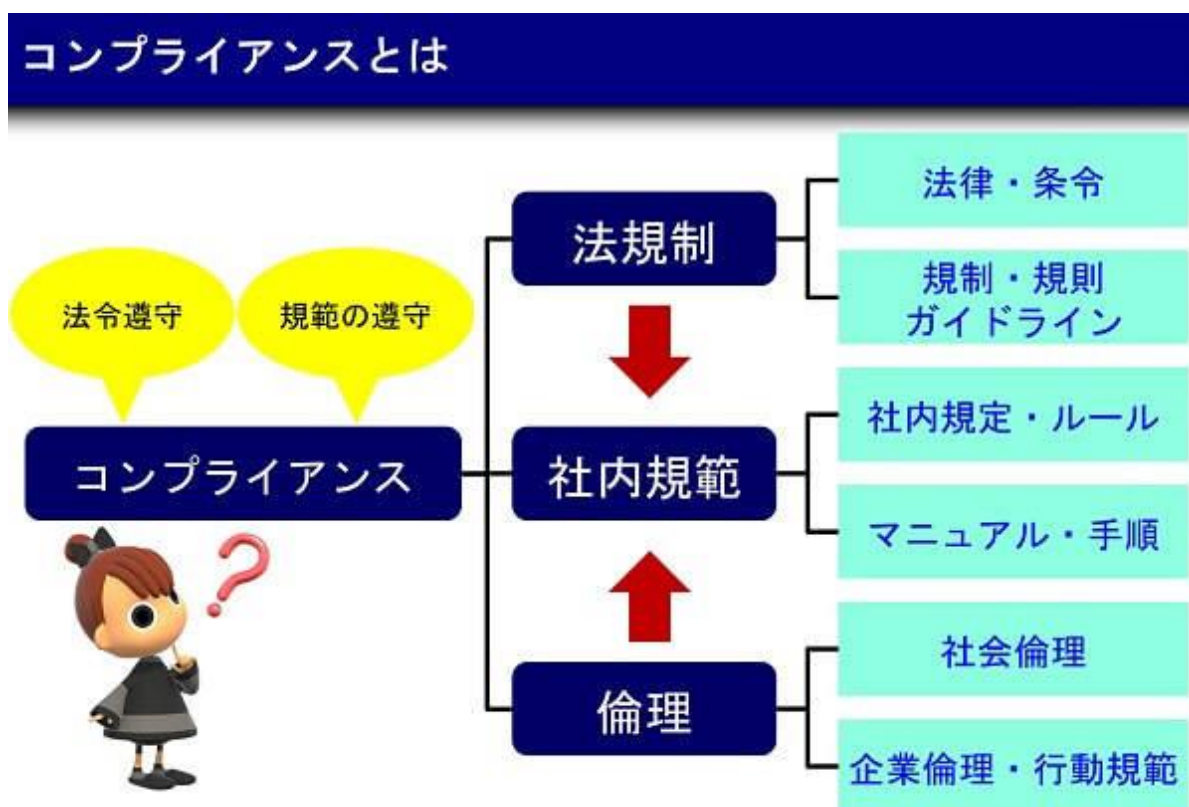
FAX : 048-956-1310

E-mail : info@uchiya.co.jp

令和2年9月17日

社長 清水 澄人

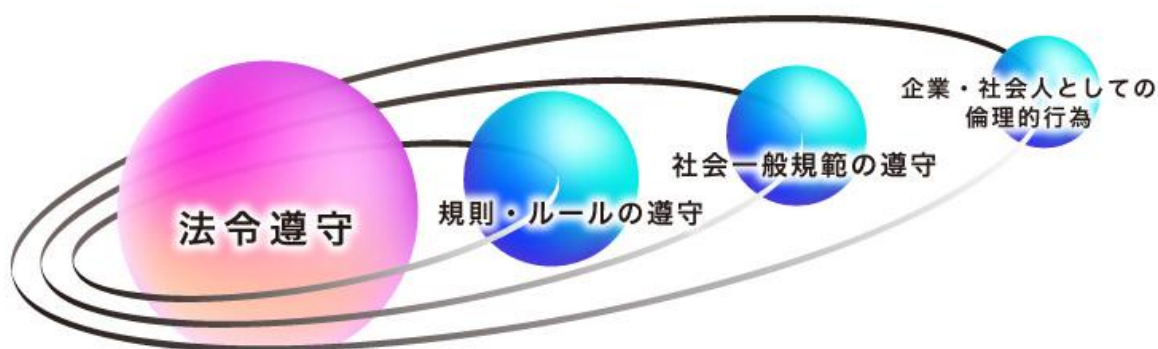
おんど9月号では、ウチヤグループの倫理観や道徳観、社内規範、社内規則、法令、等々の我々が事業活動を行う上で、遵守すべき規則や決まりごとの文書体系を説明しました。今回は、この法令遵守の基本概念に関して、最近の世界的な考え方を説明します。



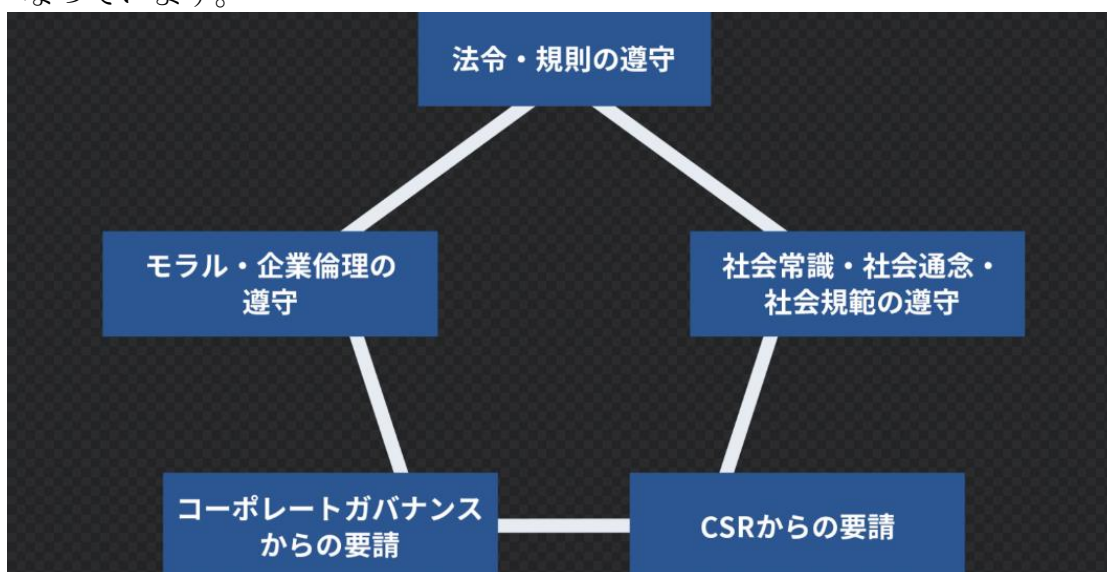
1. コンプライアンス(compliance)は「法令遵守」と訳される言葉で、コンプライアンスと聞くと、法律を守ることを想定する人が多いと思いますが、現在は、法律を守るだけでなく、倫理観や道徳観、社内規範といったより広範囲の意味として使われることが一般的になっています。即ち、企業外では法令、倫理や社会規範といったものが対象となり、企業内では、社内規則、業務マニュアルなど規則や決まりごと、行動規範(コードオブコンダクト Code of

Conduct)を守り、経済活動を行うことを含めて広くコンプライアンスという言葉が使用されていることを認識する必要があります。又、企業がこのコンプライアンス違反した場合、損害賠償請求、売り上げの減少、社会的信頼の失墜といった影響を受けます。例えばウチヤ社は多くの顧客様との間で基本取引契約書を締結していますが、その中に重大な法令違反をウチヤ社が犯した場合、顧客様に即刻契約解除が出来る条項があり、取引の全面停止となってしまうことを肝に銘じて置かねばなりません。

高い倫理観を持った透明性のある企業活動



- これに対して、企業自らが認識して法人格としての活動を定義する言葉で、企業の社会的責任 CSR (Corporate Social Responsibility) が最近特に言われます。企業が自社の利益を追求するだけでなく、自らの組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダー(利害関係者：消費者、取引関係先、投資家等、及び社会全体)からの要求に対して適切な意思決定をすることが要求されます。日本では利益を目的としない慈善事業(寄付、ボランティアなど)と誤解・誤訳されることもありますが、そうではなくて含まれると解釈して下さい。事実、ウチヤ社ではSDGs活動の一環として日本ユニセフへの寄付を行っています。



以上